

出前講座

分野：美術・デザイン

テーマ：世界のポスター

職・氏名：デザイン美術学科 講師 宮川友子

◆概要：

ヨーロッパの街角に立つ広告塔のある風景や、世界中で行われているポスターコンクールに集まる人々を中心に、街に文化の香りや彩りを与える、ポスターという媒体のアート性や、デザイナーの社会的な役割について紹介します。

◆内容：

岐阜協立大学にある「日本国際ポスター美術館」は30年以上、ヨーロッパを中心としたアートポスターの収集・展示・保存を行っています。これは大垣を中心とした市民のみなさんはもちろん、そのポスターをデザインしたデザイナーのあたたかい協力によることも大きいです。

ヨーロッパには広告塔という文化があり、公園や路面電車のある所にはその街のデザイナーによるアートなポスターが貼られ、文化イベントなどを告知しています。そしてその美しさや個性を競い合う「ビエンナーレ」「トリエンナーレ」は世界中に広まり、国内外のデザイナーをはじめ、地域の人や学生などと交流する場にもなっています。

電子媒体が普及した今も、紙にプリントしたポスターの人気は健在ですが、ちょっとした変化も起きています。ヨーロッパを中心に実際に足を運んだ写真の資料をもとに世界のポスターデザインのこれまでと今をご紹介しますことで、デザインの世界を少し身近にします。

◆出講可能な時間帯：

4月～7月(前期)・・・未定

10月～1月(後期)・・・未定

- (1) 専門分野…グラフィックデザイン
- (2) 主な担当科目…グラフィックデザイン、デザイン論など
- (3) 一言メッセージ…アートの観点でポスターのデザインを鑑賞することが、身の回りの美を見つける一歩となります。